

ねりまの文化財

東京文化財ウィーク2019

11月1日から11月7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。この期間中は、全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。

東京都では、より多くの皆様に文化財を身近に感じていただくために、強調週間の前後を「東京文化財ウィーク」として都内にある文化財の公開事業と企画事業を実施します。文化財の公開については、通年公開と、ウィーク期間中の特別公開とがあります。区では、以下の企画事業を行います。

ガイド冊子「東京文化財ウィーク」特別公開・企画事業編と通年公開編は9月下旬に伝統文化係(区役所本庁舎8階)・石神井公園ふるさと文化館等で配布する予定です。

史蹟名勝天然記念物保存法施行100年記念事業

「三宝寺池沼沢植物群落」の魅力

「三宝寺池沼沢(しょうたく)植物群落」は、昭和10年(一九三五)に武蔵野の特徴的な湿原が残されていることと、学術的にも希少な植生であることから国の天然記念物に指定されました。講演会と現地解説会の全2回で、その魅力をお伝えします。ぜひご参加ください。



【日時】

第1回(講演会)

10月29日(火) 14時~15時30分

講師 本間 暁(元文化庁主任文化財調査官)

財調査官)

第2回(現地解説会)

11月6日(水) ①10時~11時30分

②14時~15時30分

【場所】

第1回 石神井公園ふるさと文化館

第2回 三宝寺池およびその周辺

【交通】いずれも石神井公園駅より徒歩15分

15分

【参加費】30円(保険料)

【申込方法】

往復はがきに、現地解説の希望回(①または②)・住所・氏名(ふりがな)・

練馬区
地域文化部
文化・生涯学習課
(伝統文化係)
〒176-8501
練馬区豊玉北6-12-1
TEL 03(5984)2442

年齢・電話番号・同伴者(1名まで可)の氏名・年齢、返信欄に返信先の住所・氏名を記載し、申込先にお送りください。講演会・現地解説会ともに参加できる方が対象となります。

【申込先】〒178-8501

練馬区豊玉北6-12-1

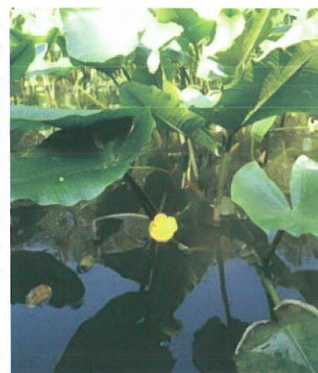
伝統文化係

【申込締切】10月11日(金)必着

【募集人数】90人(応募多数の場合は抽選)

抽選)

【問合せ】伝統文化係



コウホネ



ミツガシワ



ハンゲショウ

東京文化財ウィーク2019参加事業
石神井公園ふるさと文化館

●特別展「病(やまい)退散—江戸の知恵と医術—」

医学が進歩し、多くの病が治療できるようになった現在においても、人々は健康の尊さを再認識し、健康に生きるために模索しています。体にいい食生活を取り上げたテレビ番組や雑誌の特集が頻繁に話題にもなります。その大もとをたどると、中国から伝わった漢方の知識や、江戸時代より人々に受け継がれてきた生活の知恵と工夫に行きつくことが多くあります。

本展では、江戸時代における医術の発展を追うとともに、当時の人々の養生の考え方や病への対処について紹介します。

特別公開「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者(博物学者)である小野蘭山(一七二九〜一八一〇)の墓誌(東京都指定有形文化財)を、本展で特別公開します。



【期間】 9月14日(土)〜11月4日(月)
休) 午前9時〜午後6時

【場所】 石神井公園ふるさと文化館
企画展示室

【特別展観覧料】 一般300円、高校生・大学生200円、65歳以上75歳未満・障害者手帳をお持ちの方150円、中学生以下・75歳以上の方は無料



右・《飲食養生鑑》安政(一八五四〜一八六〇)頃
歌川国貞/画、たばこと塩の博物館蔵
左・《房事養生鑑》安政(一八五四〜一八六〇)頃
歌川国貞/画、たばこと塩の博物館蔵

特別展関連講演会①
「江戸の知恵に学ぶ食養生—薬膳から見た食生活と健康—」

【日時】 10月14日(月・祝)
午後2時〜3時30分

【場所】 石神井公園ふるさと文化館
多目的会議室

【講師】 武鈴子(東京薬膳研究所代表・食養研究家)

【定員】 90名

【参加費】 無料

【申込】 9月1日から電話受付(先着順)

特別展関連講演会②
「漢方医学のルーツと大切な考え方」

【日時】 10月27日(日)
午後2時〜3時30分

【場所】 石神井公園ふるさと文化館
多目的会議室

【講師】 小曾戸洋(北里大学客員教授)

【定員】 90名

【参加費】 無料

【申込】 9月1日から電話受付(先着順)

特別展関連講演会③
「病とむきあう江戸時代—幕府・藩・庶民と医薬の関わりについて—」

【日時】 11月3日(日・祝)
午後2時〜4時

【場所】 石神井公園ふるさと文化館
多目的会議室

【講師】 岩下 哲典(東洋大学文学部史学科長・教授)

【定員】 90名

【参加費】 無料

【申込】 10月1日から電話受付(先着順)

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡、東京都指定史跡)の発掘調査の様子や成果などを、特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】 10月26日(土)〜11月4日(月・休)

午前9時30分〜午後4時30分

【場所】 都立石神井公園内石神井城跡(石神井台1丁目)

●通年公開「丸山東遺跡方形周溝墓出土品」

壺形土器、鉄剣、ガラス玉、管玉からなる出土品は、弥生時代後期の墓制を知る上で貴重な資料です(東京都指定有形文化財)。

【場所】 石神井公園ふるさと文化館
常設展示室(観覧無料)

【申込・問合せ】

石神井公園ふるさと文化館
住所: 練馬区石神井町5-12-16
電話: 03(3996)4060
休館日: 月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日)・年末年始
開館時間: 午前9時〜午後6時
詳細はふるさと文化館ホームページ(<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>)をご覧ください。

公開している国指定・登録、都指定の文化財

区内にも国指定・登録、都指定の文化財があります。そのなかで普段見ることのできる文化財を紹介します。

ねりまはくさんじんじや おおけ やき

練馬白山神社の大ケヤキ

(国指定天然記念物)

白山神社のケヤキは樹齢約900年と推定される全国でも有数の巨木です。永保3年(一〇八三)、源義家が「後三年の役」で東北地方に向かう際に戦勝を祈願して苗木を奉納したと伝えられています。

【所在】練馬4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅より徒歩5分

さんぼうじいけしやたくしよくぶつぐんらく

三宝寺池沼沢植物群落

(国指定天然記念物)

三宝寺池の中央にある「中の島(浮島)」周辺が指定されています。コウホネ、ミツガシワ、ハンゲシヨウ、カキツバタなどの水生植物を中心に貴重な植物相がみられます。

【所在】石神井台1 石神井公園内

【交通】石神井公園駅より徒歩15分

まきのきねんでいえん

牧野記念庭園

まきののどみ たろうたくあと

(牧野富太郎宅跡)

(国登録記念物)

世界的に著名な植物学者である牧野

富太郎(一八六二〜一九五七)が、大正15年(一九二六)から逝去するまで30年余り居住した住宅と庭の跡です。

【所在】東大泉6-34

【交通】大泉学園駅より徒歩5分

【開園時間】9時〜17時

※火曜日休園

【問合せ】牧野記念庭園

03(3922)2920

しゃくじいじやうあと

石神井城跡 (都指定史跡)

石神井川の水源の一つである三宝寺池の南側台地に石神井城跡があります。南北朝・室町時代に石神井川流域を支配した豊島氏の拠点でした。文化財ウィーク期間中は、城跡の主郭内が特別公開されます。(2頁に関連事業あり)

問合せ・石神井公園サービスセンター
03(3996)3950

【所在・交通】

「三宝寺池沼沢植物群落」と同じ
おのらんざんはかおよ ぼし

小野蘭山墓及び墓誌

(都指定有形文化財)

いけながどううんはか

池永道雲墓

(都指定旧跡)

小野蘭山(一七二九〜一八一〇)は江戸時代中期の本草学者(博物学者)、池永道雲(一六七四〜一七三七)は書家・篆刻家です。両墓ともに大正12年

(一九二三)の関東大震災の罹災により、昭和の初めに浅草から現在地に移転しました。小野蘭山の墓誌は、現在石神井公園ふるさと文化館で保管しており、9月14日(土)から展示します。

(2頁参照)

【墓の所在地】練馬4-27
迎接院・受用院墓地内

【交通】豊島園駅より徒歩5分

ひがしこうやさんおくのいん

東高野山奥之院 (都指定史跡)

長命寺の境内西部にある霊場域です。長命寺は江戸時代に紀州高野山の霊場を模して整備されたので「東高野山」と呼ばれます。奥之院への参道には石塔や石仏等が多く建ち並んでいます。

【所在】高野台3-10 長命寺境内

【交通】練馬高野台駅より徒歩5分

まるやまひがしせいせきほうけいしやうこうぼ

丸山東遺跡方形周溝墓

しやうどうびん

出土品 (都指定有形文化財)

大泉町三、四丁目に所在した丸山東遺跡の方形周溝墓4号を中心に出土した弥生土器12点・ガラス玉71点・管玉5点・鉄剣1口です。武蔵野台地における弥生時代後期の方形周溝墓一括出土品として秀逸です。

【所在】石神井公園ふるさと文化館

文化財保護審議会

委員委嘱(第17期)

練馬区では、区内文化財の保護・保存および活用を図るため、練馬区文化財保護条例に基づき、学識経験者で構成する練馬区文化財保護審議会を設置しています。

主な役割は、①教育委員会の諮問に応じる。②文化財の保存等について重要事項を調査し、審議する。③重要事項について教育委員会に提言する。の三点です。この度、平成31年4月1日付けで、左記6名の方に、練馬区文化財保護審議会委員を委嘱しました。任期は2年です。

◆委員一覧(敬称略・五十音順)◆

- 伊郷 吉信 自由建築研究所 (建築)
- 漆澤その子 武蔵大学教授 (日本芸能史・文化史)
- 佐藤 孝之 東京大学名誉教授 (日本近世史)
- 副島 弘道 大正大学名誉教授 (日本彫刻史・文化財学)
- 松崎 憲三 名城大学名誉教授 (日本民俗学・民具学)
- 森 公章 東洋大学教授 (日本古代史)

文化財保護行政節目の年

「記念物」保護制度創設百年

文化財保護法では史跡名勝天然記念物を総称して「記念物」といいます。

令和元年は、「記念物」保護制度の取組が開始して百年目の節目の年です。記念物の保護は、大正8年(一九一九)6月1日に、現行の文化財保護法の前身となる「史蹟名勝天然紀念物保存法」が施行されたことから始まります。



文化財保護法へ

大正期に「史蹟名勝天然紀念物保存法」が制定された経緯は、明治30年代以降、近代化が進み、道路や鉄道の敷設、工場開発等により国土の開発が急速に行われていくなか、土地と結びついた文化財を保護するためでした。

その後、この法律は、昭和24年(一九四九)の法隆寺金堂壁画焼失事件を契機に、「国宝保存法」「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」という既存の美術工芸品等の保護制度と統一され、「文化財保護法」(昭和25年施行)に受け継がれました。

記念物保護制度の体系

文化財保護法でいう「記念物」とは具体的に次の文化財のことです。

- 1 貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅、その他の遺跡で、我が国にとって歴史上または学術上価値の高いもの。
- 2 庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で、我が国にとって芸術上または鑑賞上価値の高いもの。
- 3 動物、植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの。

これらの記念物のうち、重要なものを、文部科学大臣が文化審議会に諮り、指定することができます。1は「史跡」、2は「名勝」、3は「天然記念物」、そのうち特に重要なものは、それぞれ「特別史跡」「特別名勝」「特別天然記念物」に指定しています。

「記念物」の保護とは、日本の歴史を知る上で欠かせない遺跡、日本に暮らす人々がそれぞれの土地に紡いできた思いを継ぐ名所、風景、庭園等の名勝地、日本列島がたどってきた自然史を知ることができるものや人と自然が関わって作り上げた場所など、これらを国民の宝として守り、未来へ受け継ぐ取組なのです。

身近な場所に天然記念物

区内には、国指定の天然記念物が2件あります。

三宝寺池沼沢植物群落

昭和10年(一九三五)指定。写真は三宝寺池の西から東を望んだもので、中央奥が「中の島(浮島)」の沼沢植物群落です。



※中の島は、環境保全のため入れません。



天然記念物

練馬白山神社の大ケヤキ

昭和15年(一九四〇)指定。



条例による記念物保護

区内には東京都の文化財保護条例に基づく都指定史跡3件、旧跡2件、練馬区文化財保護条例に基づく区指定の天然記念物3件、登録の史跡13件、名勝1件、天然記念物11件があります

記念物100年展参加事業 展示開催

文化庁では、記念物保護の取組が始まってから百年を迎える節目に、その保護の重要性について理解してもらうため、3年(二〇一九〜二〇二一年度)にわたり、「記念物100年」事業を実施しています。

練馬区では、記念物を未来へ引き継ぐ想いを共有する本事業の趣旨に賛同し、「発掘された日本列島展」で開催する特集展示「記念物100年」展の一部と、区内の記念物を紹介するパネル展示を、次の2つの会場で開催します。どちらも入場無料です。展示は文章や写真による紹介ですが、東京文化財ウィークに合わせ区内記念物の現地公開もあります。ぜひご覧ください。

【日時】令和元年10月1日(火)〜11月29日(金) 9時〜18時

※休館日は2頁参照

【会場】石神井公園ふるさと文化館 2階常設展示室の一部

【日時】令和元年11月1日(金)〜14日(木) 8時〜20時

※1日は10時から 14日は16時まで

※土日休日は8時45分〜20時

【会場】練馬区役所本庁舎2階西側通路 (練馬区豊玉北6-12-1)